

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	中津川市立付知北小学校		
実 施 期 間	平成25年11月 6日(水)～11月27日(水)		
実 施 概 要	①収穫祭 ②音楽祭 ③保育園訪問 ④おじいさんおばあさんから学ぶ会		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 □歴史 ■文化 □産業 □その他		
	公開の方法 □授業公開 ■成果発表 ■交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来 校 者 数	保 護 者	143人	計 170人
	地域関係者	27人	
実 施 状 況	11月6日に、1・2年生が収穫したサツマイモで『おいもフェスティバル』を行った。地域の方にいただいた焚き物で火床を作り、一人ひとりがとっておきのサツマイモをアルミホイルで包んで、焼き芋を行った。待ち時間には、係が企画した遊びを体験し、また、お世話になった農業指導の方と交流した。22日に『清流音楽祭』を全校行事で行い、祖父母や地域の方や学校評議員の方々と保護者に、合唱や器楽合奏を披露した。その後、各学年ごとに懇談会を行った。11月25日に、3年生が保育園訪問を行い、合唱やその他のゲームで、園児と交流を行った。自分たちの学校自慢を後輩の園児に披露した。11月27日に、『おじいさんおばあさんから学ぶ会』を、2年生が行った。昔の遊びについて、おじいさんやおばあさんから話を聞き、手業のすばらしさや友達と協調しながら楽しむ昔ながらの遊びのよさを感じとる活動を行った。		
成果及び課題	地域に根ざして生きる後継者の育成を望んでいる地域の方々の期待が高く、様々なことで学校への支援をいただいている。年間を通して、各学年が様々なふるさと学習を行っている。また、地域子ども会は、祖父母の代より続く「まめ学校」という形で、合宿や郷土料理づくり、地域の産業めぐり、工作など地域の文化遺産の継承が、地域委員など親の努力で脈々と続けられていて、夏休みあけのふるさと学習発表会で盛りだくさんの内容になるようにと保護者は毎年工夫を重ねている。 アンケートでは、児童が付知ならではの食文化や郷土芸能に興味を持ち安心できる、その学年に応じたまとまりのもとで合唱や器楽を聴かせてくれ感動した等の意見を頂いた。また、労働を厭わず、手を汚して作業をする姿を、温かい目で応援して下さっている。 お年寄りには、老人会が母体の登下校見守り隊や校地草刈りなどでお世話になっているが、出席率が低く、感謝の意を伝える機会を増やしたい。		